

短歌の基本を知ろう

図解 | 短歌の基本と読み取り方



五つのまとまり＝五句 / 合計三十一音が基本

情景

見えるもの・聞こえるもの
起きていること

心情

話者が感じていること
うれしい・さびしいなど

表現

たとえ・擬人法・反復など
言い方の工夫

短歌の形

問1 正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

短歌の基本の形を確認しましょう。〔五音〕→〔七音〕→〔五音〕→〔七音〕→〔七音〕の五つのまとまりを「句」といい、合わせて三十一音になるのが基本です。短歌の基本の形として正しいものはどれですか。

- ア 五・七・五・七・七
- イ 五・五・七・七
- ウ 七・五・七・五・七

問2 ことばで答えなさい。

短歌をつくる五つのまとまりを何といいますか。

音数の数え方

問3 音数を数字で答えなさい。

音数の数え方を確認しましょう。小さい「ゃ・ゅ・ょ」は前の文字と合わせて1音、「っ」「ん」「ー」はそれぞれ1音と数えます。「きょう」は何音ですか。

答え 音

情景と心情

問4 情景を表しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

短歌を読むときは、〔見えるもの・起きていること〕→情景、〔感じていること〕→心情、〔言い方の工夫〕→表現と整理すると読み取りやすくなります。次のうち、目に見える様子や場面である「情景」を表しているものはどれですか。

- ア 夕焼けの道を一人で歩く
- イ 少しさびしい気持ちになる
- ウ 明日が楽しみだと思ふ

五七五七七と情景を読み取ろう

五七五七七を確かめる

問1 音数を数字で答えなさい。

「春の朝」は何音ですか。

答え 音

問2 音数を数字で答えなさい。

「風がやさしい」は何音ですか。

答え 音

問3 音数を数字で答えなさい。

「今日も始まる」は何音ですか。

答え 音

句のまとめ

問4 五・七・五・七・七の区切りとして正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「春の朝風がやさしい窓をあけ鳥の声きく今日も始まる」の区切り方として正しいものはどれですか。

- ア 春の朝／風がやさしい／窓をあけ／鳥の声きく／今日も始まる
- イ 春の朝風／がやさしい窓／をあけ鳥／の声きく今日／も始まる
- ウ 春の／朝風がやさしい／窓をあけ鳥／の声きく／今日も始まる

情景を読む

問5 短歌を読んで答えなさい。

「夕焼けに／伸びる影踏む／帰り道／友と笑えば／空まで近い」。この短歌で描かれている時間帯を答えなさい。

問6 短歌を読んで答えなさい。

「夕焼けに／伸びる影踏む／帰り道／友と笑えば／空まで近い」。話者はどこを歩いていますか。

問7 短歌を読んで答えなさい。

「夕焼けに／伸びる影踏む／帰り道／友と笑えば／空まで近い」。話者はだれと一緒にいますか。

問8 話者の気持ちとして最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「夕焼けに／伸びる影踏む／帰り道／友と笑えば／空まで近い」。この短歌から読み取れる気持ちはどれですか。

- ア 一人で帰るさびしさ
- イ 友と過ごす楽しさ
- ウ 急いで帰らなければならない焦り

心情と表現を読み取ろう

心情を読む

問1 短歌を読んで答えなさい。

「秋の夜に／机の上に／手紙置く／返事を待って／時計見つめる」。話者は何を待っていますか。

問2 話者の気持ちとして最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「秋の夜に／机の上に／手紙置く／返事を待って／時計見つめる」。話者の気持ちはどれですか。

- ア 返事を待つことを忘れている
- イ 返事が気になり落ち着かない
- ウ 返事が来ないことを喜んでいる

問3 七音で抜き出しなさい。

「秋の夜に／机の上に／手紙置く／返事を待って／時計見つめる」。話者が時間を気にしながら返事を待っていることが分かる部分を、七音で抜き出しなさい。

表現を読む

問4 表現技法の名前を答えなさい。

「朝の空／雲が手を振る／坂の上／今日はいいこと／ありそうな気が」の「雲が手を振る」には、雲を人のように表す何という表現技法が使われていますか。

問5 表現の効果として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「朝の空／雲が手を振る／坂の上／今日はいいこと／ありそうな気が」の「雲が手を振る」という表現には、どのような効果がありますか。

- ア 雲が親しげに感じられ、明るい気分を表す
- イ 雲がこわく感じられ、不安を表す
- ウ 雲の形を正確に説明する

問6 話者の心情を答えなさい。

「朝の空／雲が手を振る／坂の上／今日はいいこと／ありそうな気が」。この短歌から読み取れる話者の心情を簡潔に答えなさい。

表現と心情をつなぐ

問7 何を何にたとえているか答えなさい。

「赤い傘／花のようだね／雨の道／並んで歩く／君とわたしで」。第二句では、何を何にたとえていますか。

問8 表現の効果として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「赤い傘／花のようだね／雨の道／並んで歩く／君とわたしで」。赤い傘を花にたとえることで、どのような印象が生まれていますか。

- ア 雨の日の景色が明るく華やかに感じられる
- イ 傘が重くて歩きにくいことが強調される
- ウ 雨が激しく危険なことが伝わる

短歌を鑑賞しよう

情景を整理する

問1 短歌を読んで答えなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。どのような天候や気候の様子が描かれていますか。

問2 短歌を読んで答えなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。この日、「君」は話者と一緒にいますか。

表現と心情

問3 話者の心情として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。この短歌から読み取れる気持ちはどれですか。

- ア 君がいないことへのさびしさ
- イ 一人で帰れることへの喜び
- ウ 街路樹が揺れることへの怒り

問4 三十字程度で説明しなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。最後を「手だけ冷たい」と結ぶことで、話者のさびしさがどのように強められていますか。

鑑賞問題

問5 短歌を読んで答えなさい。

「夜明け前／静かな駅で／電車待つ／知らない町へ／胸が弾んだ」。話者はどこで電車を待っていますか。

問6 話者の心情として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「夜明け前／静かな駅で／電車待つ／知らない町へ／胸が弾んだ」。この短歌から読み取れる気持ちはどれですか。

- ア 知らない町へ向かうことへの期待
- イ 電車に乗りたくないという不満
- ウ 駅が静かすぎることへの恐怖

問7 三十字から四十字程度で説明しなさい。

「夜明け前／静かな駅で／電車待つ／知らない町へ／胸が弾んだ」。話者が知らない町へ向かうことを楽しみにしていると分かるのはなぜですか。短歌中の言葉を根拠に説明しなさい。

定期テスト対策

基本知識

問1 数字で答えなさい。
短歌の基本形である五・七・五・七・七は、合計何音ですか。

問2 音数を数字で答えなさい。
「きって」は何音ですか。
答え 音

内容理解

問3 短歌を読んで答えなさい。
「雨上がり／光る水たま／靴ぬらし／駅まで走る／虹見て笑う」。どのような天気のアトが描かれていますか。

問4 短歌を読んで答えなさい。
「雨上がり／光る水たま／靴ぬらし／駅まで走る／虹見て笑う」。話者が最後に見たものは何ですか。

心情・表現

問5 話者の心情として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「雨上がり／光る水たま／靴ぬらし／駅まで走る／虹見て笑う」。最後の場面での話者の気持ちとして最も適切なものはどれですか。
ア 虹を見たうれしさ
イ 雨が降り続くことへの不安
ウ 駅まで走ることへの怒り

問6 表現の特徴を答えなさい。
「友を待つ／早く早くと／足ならず／角の向こうで／友が手を振る」の「早く早くと」では、同じ言葉を繰り返すことで何を強く表していますか。

鑑賞

問7 短歌を読んで答えなさい。
「友を待つ／早く早くと／足ならず／角の向こうで／友が手を振る」。話者が待っていた相手はだれですか。

問8 三十字から四十字程度で説明しなさい。
「友を待つ／早く早くと／足ならず／角の向こうで／友が手を振る」。第二句と第五句に注目し、話者の気持ちの変化を説明しなさい。
